



▼中の川の生き物たち



▲箱めがねを手に笑顔で話す鈴木さん



「昔、この辺りは原っぱにヒバリがさえずり、林にカッコウの鳴き声もしていたんですが、今ではそんな自然が残っていないと思っていました。それがあつた時、中の川で魚が泳いでいるのを見つけ、『ここにはまだ、自然が残っているんだな』と思ったのが活動を始めたきっかけです」と話す「手稲さと川探検隊」代表の鈴木さん。

主な活動を行っている中の川は、人工の川のようになつてはいますが、野鳥も多く、10種類以上の魚や蟹などもいるそうです。

3年前に数人で活動を始めた同隊も、現在では6人のスタッフを中心に活動の企画を行い、北海道工業大学の皆さんの協力も得て月に一回程度、子どもたちと実際に川に入つて、どんな場所に、どんな生き物があるかを調べたり、川での活動のできない冬は、手稲山で山の自然について調べたりしています。

鈴木さんは、「子どもも大人も一緒に、少しでも楽しめる川にしていく工夫をしたい。身近な川に興味を持つことが、川の環境を良くすることにつながると考えています。多くの人が身近な自然に遊び、癒され、心豊かに暮らせるといいですね」とにこやかに語ってくれました。

身近な自然で遊びませんか？

「手稲さと川探検隊」代表

鈴木 玲さん
(新発寒在住)



▲川に入つての生き物調べ



▲どんな生き物がいたかな

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639